

南山大学は「キリスト教世界観に基づき学校教育を行い、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」を建学の理念とする中部地区で唯一の共学カトリック系ミッションスクールで、8学部17学科を擁する文理融合の総合大学です。建学以来「Homini Dignitati（人間の尊厳のために）」という教育モットーを掲げ、そのグローバルな具現化のためのビジョン・キープレーズを「個の力を、世界の力に。」と定めています。豊かな国際性と専門性を併せもった人材を養成し、地域に根ざしながらも世界から選ばれる大学になることを目指します。

今年も戦略的に国際化を進めます。人類の未来を創造するための専門性と国際性を育み、深化するために、キャンパスに集う学生、留学生、教職員等の多文化交流を推進します。



鳥巢義文学長

統合された文理融合のキャンパスで 多様性と国際性を自分の課題として 「世界から選ばれる大学」を目指す

**「個の力を、世界の力に。」を
ビジョン・キープレーズに
「国境のない学びの場」を提供**

「キリスト教世界観に基づき学校教育を行い、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」を掲げない建学の理念として掲げる南山大学は、南山外国語専門学校を前身としており、開学から70年以上を経た現在も8学部17学科を擁する総合大学に発展しています。共学大学としては中部地区唯一のカトリック系ミッションスクールであり、建学の理念に具体的な方向性を与えるために「Homini Dignitati（人間の尊厳のために）」という教育モットーを掲げています。

また、大学のビジョンを「一人種障がい、宗教、文化、性別など、様々な違いを認識し、多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、人々が共生、協働することによって、新たな価値の創造に貢献する」とし、これを端的に表すキープレーズを「個の力を、世界の力に。」としています。

さらに、「国境のない学びの場」とするための改革と環境整備も展開しています。世界から選ばれる大学

として、英語で行う授業「国際科目群」を提供しており、経済学や心理学など2019年度は約60科目を開講。日本人学生と外国人留学生との外国語による知的交流も盛んです。

**キャンパスの統合で
教育の質向上を推進**

2017年4月には全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合し、すべての教育資源を一つのキャンパスに集約しました。これにより他学部・他学科間の交流も活性化し、互いの違いを認め合いつつ協力し合え、さらに質の高い教育と研究環境を提供しています。

鳥巢義文学長はこのように述べています。「南山大学で教育・研究に携わる私たちにとって、社会からの様々な要請に応える際の基盤とするべきものは、何よりも本学が掲げてきた教育モットーであると考えます。「人間の尊厳のために」というモットーは、本学が取り組む教育・研究の伝統のもつ特長を簡潔に表現しており、急激な科学技術革新のもとで、今後ますます複雑化、グローバル化する社会にあっても、決して見失ってはならない価値観だと確信しています。」

キャンパス統合後は、本学キャンパスの設計者であるアントニン・レーモンド氏の思想を継承した「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」として、建物の改修や外構整備を行い、キャンパス環境の



改善を図っています。
**オンラインで海外大学と連携
COOL型授業の実施**

南山大学は米国を中心とした海外の大学とCOOL（Collaborative Online International Learning）と呼ばれる新たな教育プログラム（NU-COOL）を展開しています。COOLとはオンラインを活用した国際的な双方向の教育手法のことで、SNSやLMS（学習管理システム）などを使って南山大学と海外の大学生を繋ぎ、共同プロジェクトに取り組みます。COOL型授業に加えて海外留学を経験することで、これからの社会で活躍するグローバル人材に求められる力を養います。

また、COOL型授業を受講することで留学前に現地での知り合いができ、留学先での授業や生活上の不安を解消することが出来ます。一方で、留学後の受講は、外国語運用能力の維持向上や、現地学生との関係



■レーモンド・リノベーション・プロジェクト

著名な建築家であるアントニン・レーモンド氏によって1961年に設計された南山大学のキャンパスは、自然との調和をはかり、また学問することの理想を形にしている。

2017年度からレーモンド氏の設計思想である「自然を基本として」を継承し、建物の改修や外構整備を行う「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」を進めている。

既存教室の改修や学生のためのセミナー室整備に加え、安全性・利便性向上のためのグラウンド人工芝整備やキャンパス内動線の整備、セキュリティ強化やユニバーサル化にも取り組み、2021年度中の完成を目指している。

○教室環境設備

1. セミナー室の整備に合わせた改修
学生の居場所となる「セミナー室」の確保と同時に「ロッカー室」を整備し、既存教室を改修。
2. 学習サポート施設の整備に合わせた改修
主体的な学びを支える「ラーニング・コモンズ」の整備や「クラブハウス」の改修。
3. 既存施設の保全・機能向上
既存施設の意匠性を維持するために内外装を改修し、設備・備品を更新。



○学生生活環境整備

1. キャンパス内動線の整備
動線ネットワークの整備・拡充を行い、安全性、利便性と学内交流の活性化を促進、また舗装整備による修景向上。
2. セキュリティの強化
各ゲートの機能見直しと改修、敷地境界フェンスの更新によるセキュリティ強化・修景向上、電気錠対応による施設運用の簡易化、構内照明の整備。
3. ユニバーサル化
サイン更新、G棟にエレベーターを増設ならびに多目的トイレの改修を行い、キャンパス内をユニバーサル化。
4. アメニティスペースの充実
屋外の活動の場を再整備し、外部空間の快適性および修景向上。



性の継続につながります。

**多彩な留学プログラム
国内外で多文化交流を促す**

大学の国際化を最重要課題の一つに掲げている南山大学では、交換留学、認定留学その他多彩な短期留学プログラムに加え、海外インターンシップの情報提供なども行っています。交換留学は、交流協定を締結している海外の大学へ授業料免除で学部留学する制度。交換協定校数は30カ国・地域に102の協定校となります。認定留学は、協定校以外の希望留学先や留学期間を選び、履修プログラムを組み立てることが出来ます。

学部独自の短期留学プログラムも8学部全てで実施しています。授業の一環として実施される各プログラムは、語学を学ぶだけでなく、現地の文化に触れるフィールドワークや企業訪問など、学部ごとの専門性を反映させた内容になっています。他にも学部学科に関係なく全ての学生

が参加できる短期留学プログラムも用意しています。また、海外インターンシップの一例としては、米国フロリダ州のウォルト・ディズニーマーワールドでフルタイムの実務に従事する「Nanzan Discovery Program」（南山・ディズニーマープログラム）が挙げられます。

このように南山大学では、留学や留学生の受け入れ体制の整備と強化、新プログラムの開発、海外大学との連携促進、海外の大学や留学生に対する積極的な広報を実施しています。

**細やかな就職支援で
高い就職実績を誇る**

就職においても毎年高い実績を誇っています。数多くの卒業生がトヨタ自動車や三井物産などの国内トップ企業に就職しており、優秀なOB・OGが全世界で活躍していることは在校生にとって大きな強みとなります。キャリア支援室では、就職活動に関する基本的な内容から各

種対策講座まで様々なプログラムを実施。例えば外交官や国際機関職員など国際的な活躍を目指す学生には「国際社会で活躍するキャリアを考える特別プログラム」が用意されているほか、教員志望の学生の支援や相談に応じる専門機関の「教職センター」も開設しています。

業界・職種研究会をはじめとするキャリアサポートプログラムでは、第1線で活躍中の卒業生が講師を務めたり、学内会社説明会には地元企業以外にも関東や関西から多数の企業が参加しています。

鳥巢学長は、「大学では学生が自ら学ぶことが大切です。まず自分は何者で何がしたいのかを「自覚」することで自ずと勉強する中身が見えてきます。そして学んでいけば、人は『成長』します。大学卒業で学びは完了ではありません。皆さんの学びが『円熟』して、その後の人生の裏りとなることを願っています。」とメッセージを贈っています。